

過熟生はどのよう に学び、 過ごしているのか?

三田、日吉、信濃町、矢上、湘南藤沢、そして芝共立キャンパス。現在、義塾の6つのキャンパスでは、10学部 of 学部生が学んでいます。

しかし、同じ塾生といえども、学部が違い、ましてキャンパスが離れていると、どのように学び、どんな学生生活を過ごしているのかは見えにくいものです。たとえば、「医学部生はいつから白衣なのか」「理工学部生がどのように学科を決めるのか」など、“耳にしたこともない”という塾生はきっと多いのではないのでしょうか。また、学窓を離れた塾員の方々

は、自身が在学した頃と今の学生生活がどう変わっているかをなかなか知り得ないのではないのでしょうか。

今号の特集では、学部やキャンパスの特徴に注目しながら塾生たちの学生生活をクローズアップ。学びの様子や卒業までのスケジュール、課外活動の実態などを、塾生の声も交えてお届けします。

※特集に掲載している各学部の「EVENTS」は、2012年度の内容をまとめたものです。2013年度以降は変更になる場合があります。



文学部・経済学部・ 法学部・商学部編

Faculty of Letters ● Faculty of Economics ● Faculty of Law ● Faculty of Business and Commerce

初めは日吉で、後に三田——慶應義塾大学に入学すれば全員この2つのキャンパスで学ぶものと思っている方は意外と多いかもしれません。しかし、ご承知の通りそれが当てはまるのは文・経済・法・商の4学部のみ。文学部は2年次から、他の3学部は3年次から三田で学びます。

1934（昭和9）年に開設された日

吉キャンパスでは、文・経済・法・商・医・

理工・薬の各学部生が、教養科目・外国

語科目・専門基礎科目を学んでいます。

進級とともに三田（文・経済・法・商）、

信濃町（医）、矢上（理工）、芝共立（薬）

の各キャンパスへと移ってゆく塾生た

ちにとって、さまざまな学部の仲間と

知り合うことのできる日吉での生活は

貴重な経験です。

2年進級とともに三田へ移る文学部

は、17専攻に分かれ、多様な学問分野

を展開しているのが特徴です。学部生

は2年次からいずれかの専攻に籍を置

き、それぞれの専門性を深めてゆきま

塾生はどのように学び、過ごしているのか？

4年生	3年生	2年生	1年生
□卒業 □文学部 □法学部 □経済学部	□文学部 □経済学部 □法学部 □商学部 ■経済学部 (4月) ■法学部 副専攻研究会 開始 (4月)	□文学部 □法学部 □商学部 □経済学部 ■商学部 インターンシップ科目 「社会との対話」(通年) PCCP応募・選考(1~3月) インターンシップ科目 「社会との対話」(通年)	□文学部 専攻分け ・ガイダンス(12月) ・志望Webエントリー(1月) ・参考試験 ・専攻決定(3月) TOEIC P試験 入学直後(4月・入学式当日) ・2年進級前(1月)

す。1年次の後期に各専攻のガイダンスが始まり、年明けには志望届(Webエントリー)を提出。志望者が集中した場合は、「参考試験」という選抜が実施されることもあります。専攻に分かれた後も、文学部全体に開かれた講義科目は多く、「芸術と文明」「人の尊厳」「比較精神史」等のオムニバス形式の授業のほか、久保田万太郎記念講座、遠山記念音楽学講座、松永記念文化財研究基金による文化財科学などの記念講座や、「アート・マネジメント」「文献学の世界」などの寄附講座と多彩な形式の講義が展開されています。経済学部では、2012年度から義塾の学部として初のダブルディグリー・プログラムがスタート。フランスのパリ政治学院(Sciences Po)ル・アーヴル校と義塾の双方で学び、それぞれの学位を得ることができます。また、国際的なキャリア形成を目指す3・4年生を対象に、将来のキャリア形成に役立つ実践的な経済学教育を、少人数クラス、かつ英語で提供するPCCP(Professional Career Programme)も設置されています。このプログラムでは、講義、授業中の質疑応答・試験から、コーディネーター

との会話・連絡まで、すべて英語で行われます。将来についての問題意識を早くから持つことを促し、職業人として世界的に活躍するキャリアを築くことを目指す学生を育てる、人気の高いプログラムです。

法学部で興味深いのが、「副専攻」制度。1・2年次に学習した人文科学や自然科学の分野を、3年次以降も研究会に所属して体系的に継続して学ぶことができるプログラムです。たとえば、「ラテンアメリカの文化と社会」「言語学」といった研究会が設置されており、一定の成果をおさめた場合には「副専攻」として認定証が授与されます。法学や政治学にとどまらない、幅広い学びをサポートしています。

「実学」を重視する商学部では、インターンシップ科目「社会との対話」を設置。派遣先は幅広く、大手企業だけでなく官庁や地方の中小企業、地方自治体、NGO、NPOなどに及んでいます。2年次夏休みの派遣に向けて事前教育が行われ、研修後は報告書の作成、学内での最終報告会が課されます。現実社会に触れることにより、目的意識の明確化がなされ、さらなる勉学意欲にもつながっています。



医学部編

EVENTS

1年生

□医療系三学部（医・看・薬）合同初期教育
 ▲グループアプローチによる患者中心の医療実践教育プログラム
 □北里柴三郎初代学部長を祖父に持つ北里一郎氏による特別講演

■EEP：高齢者施設リハビリテーション施設等

□信濃町キャンパスガイダンス
 □医学の基本科目講義（解剖学・生理学等）開始
 □研究医養成プログラムガイダンス
 □短期海外留学プログラム（研究）募集

2年生

□解剖諸霊供養法会（増上寺）
 □研究医養成プログラム（研究室配属開始、大学院講義先取り開始）
 □臨床系講義（内科学・外科学等）開始

3年生

■自主学習（実験・研究）科目開始

□医療系三学部合同中期教育
 □自主学習成果発表会（ポスター発表）
 □診断学実習（実技）開始
 □CBT（全国医学部客観試験「知識」）
 □OSCE（全国医学部客観的臨床能力試験「技能」）
 □白衣式（白衣は医学部から寄贈）

4年生

■臨床実習開始（6年11月まで）

□医療系三学部合同後期教育
 □短期海外留学プログラム（臨床）※
 □医師臨床研修マッチング組み合わせ発表
 □臨床実習終了

■医師国家試験（2月・合格発表）（3月・卒業）

5年生

※2012年夏は希望者21名が参加。坂野君は米国のベンシルベニア大学病院で約2カ月間の臨床実習を行い、「日本の医療現場の違いを知る貴重な経験になりました」と感想を述べています。

6年生

医学部は6年制。1学年の定員は112名と少人数です。2年次以降は日吉から信濃町に移ります。独自の3学期制となり、夏冬の休みも短めです。授業は、基本的には1学年全員で受講するスタイルで、全科目必修です。5・6年次は学内外約80の病院の現場で臨床を学びます。医師には体力も重要、体育会の活動も実は盛んです。

チーム医療を重視する医学部では、1年次の9月に、数人のグループに分かれて、介護者の見習いとして1週間のEEP（早期医療現場体験実習）を行います。「看護師さんや介護士さんが、重度心身障害者の一人一人にきちんと向き合う姿は、医学生を超えた一人の人間として大きな刺激を受けました」と坂野彩君（医学部6年）。

2年次秋には、3名1組で約2カ月間、毎日4時限通しの解剖実習があります。「毎朝、御遺体に、勉強させていただきます。感謝の黙祷を捧げてから、メスを握ります。最初は戸惑いますが、続いているうちに医学生としての責任を自覚し、人体をとことん学ぶことに集中しました」4年次の自主学習では、研究室で指導を受けながら、各自で研究テーマに取り組みます。

「私は循環器内科教室の指導の下で、心不全に関する臨床研究をしました」5年次からはよいよ臨床実習。学

生が接することがあると来院される方に断った上で、実施しています。実際に患者さんに問診して教員からカルテの作成指導を受けます。外科系の診療科では手術を見学することもあります。

「患者さんに接し、自分の所見や意見を言い、指導医の下で治療の実態を知り、医師となることの実感が育つ時期です」

国家試験を経て卒業後は、初期臨床研修に進み、2年間研修医として経験を積み、後期臨床研修で臨床各科に進むほか、大学院に進学し、研究に進む道もあります。

医学部体育会の各々は、東日本医科学生総合体育大会で総合優勝の結果を出すほど、盛んに活動しています。坂野君は医学部女子バレーボール部の主将を務め、人脈も広がったそうです。



医学部6年
 坂野 彩君



理工学部 編

EVENTS

■「学門」別入学

- 学門別に基礎教育科目を学ぶ
- 自然科学実験
- 理工学概論

(理工学最先端の内容を含んだ全15回にわたるオムニバス講義)

- 人間教育講座

■学科分け説明会(12月上旬矢上で開催)

- 学科の所属になる(全11学科)
- 学科ごとの専門基礎科目を履修
- 理工学基礎実験

- 矢上キャンパスへ移動

- 学科専門科目を履修
- 各学科設置の実験科目を履修
- 工場見学
- 研究室配属希望を出す

3年生

- 進学ガイダンス

- 研究室に所属(輪講や卒業研究開始)

■大学院設置科目の先取り履修可能

- 大学院入試出願(4月下旬)
- 大学院入試(6月入学試験)
- 大学院入試(8月入学試験)
- 卒業研究中間発表(夏・秋)
- 卒業研究発表(冬)
- 卒業/約7割が修士課程に進学

4年生

体育館、テニスコート、運動場も擁する矢上キャンパス。運動場では、「親睦」と研究の合間の心身の「リフレッシュ」を目的に研究室対抗でソフトボール大会が開催されています。

理工学部は、現代社会の複雑化した諸問題を解決すべく、「創発」をキーワードに、学部・大学院全体が学際的に協力・啓発し合う教育研究体制づくりを進めています。新たな教育研究の拠点となる新34棟(仮称)も建て替え工事が行われ、世界トップレベルの教育研究拠点の形成を目指し、2014年に創立75年を迎える理工学部の進化はさらに続きます。

理工学部の入学試験は、類似する分野のいくつかの学科を包括した5つの

「学門」の中から学びたい分野を選んで受験する方式です。「学門」とは、学びの庭の入口といった意味があり、学門1〜5は、物理、数学、化学、メカニクス、情報の分野に相当します。

メカニクス分野の学門4で入学した飯尾俊哉君(理工学部4年)は、機械工学科、システムデザイン工学科、管理工学科、応用化学科の中から機械工学科を選択しました。

「学科の選択時は、各学科が用意した展示を見たり、興味を引かれた研究室を訪ねて説明を聞いたりします。比較検討して学科を決められるのは、ありがたいですね。1年の終わりという時期も、早過ぎず遅過ぎずの良いタイミングです」

「理工学部は忙しい」という印象がありますが、飯尾君は「アルバイトに加え、環境保護関連のサークル活動も思い通りにできました」と言います。



理工学部4年
飯尾俊哉君

「ただし、1年目から実験の授業が年に十数回あり、毎回10〜20ページの詳細なレポートを出すのは大変でした」約7割が大学院に進む理工学部では、4年次に**大学院設置科目**を先取りする学生が多く、修士課程進学後8単位まで修了単位に認められることがあります。また国際的に活躍する人材を育成するために、学部独自にドイツのアーヘン工科大学夏期講座プログラムやフランスとのダブルディグリー・プログラムを展開しています。ゼミでは英語論文の輪読がハードで嫌でも英語が読めるようになるとの声も。

食堂もありますが、昼食やおやつに人気なのは創想館1階のラ・パウールの焼きたてパン。店内にはいつも食欲をそそる香りが漂っています。



総合政策学部 環境情報学部 編

EVENTS

□入学
必修科目…総合政策学の創造／環境情報学の創造
必修科目…体育1
必修科目…心身ウエルネス

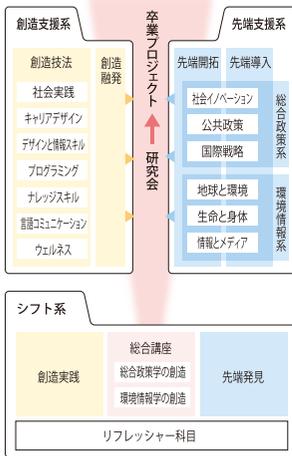
心身ともに健康な生活を送るための基礎知識を身につけ、有意義な大学生活を送ることができるよう、そして卒業後も社会のリーダーとして健康面での自己管理ができるようになる基礎能力を身につける

□TOEFL、TOEIC、プログラミング科目
認定試験（授業履修に必要な資格試験）
□入学（秋）
■「研究会（ゼミ）」履修開始

□研究会・特別研究プロジェクト
□海外研修
□留学（交換・私費）
□フィールドワーク、インターンシップ
（授業として単位取得も可能）

□卒業（3・5年早期）
卒業プロジェクト（自らの研究として取り組んできた各種プログラムをまとめる段階。入学後取り組んできたさまざまな成果がここにつながる）
□卒業

SFC未来創造カリキュラム



問題発見と解決策の創出を重視するSFCでは、情報技術をベースにした文理融合型の学びを展開しています。研究会を中心とする自由な履修システムが特色で、塾生たちは自分の研究テーマに沿って、多彩な科目から時間割を組み立てていきます。一人暮らしの学生が最寄り駅周辺に集中して住んでいるのも、SFCならではかもしれません。

入学直後に全員が履修する導入科目の「総合政策学の創造」「環境情報学の創造」では、学部長がコーディネーターとなり、多彩な研究プロジェクトを紹介しながら学部の全体像を示します。その後、塾生の学びの中心となるのが研究会（ゼミ）。

早くは1年次秋学期、多くが2年次から履修し、学期ごとの変更や掛け持ち（2年次から）も可能です。また、必修科目が少なく両学部に通根がないのも特徴で、塾生は両学部共通の広い学問領域のなかから、自分に合ったテーマを見つけ深めていくことができます。香川佳広君（総合政策学部3年）は、「入学当初は法学を中心に学びたいと考えていましたが、さまざまな授業に触れて関心が移り、秋から国際政治関連の研究会に所属しました。そこから興味が広がり、現在はオンラインセッションの研究会で、日本人の寄付行為をテーマに研究をしています」と言います。多様な分野の専門家がそろったSFCでは、その指導の下で

自分の学びをじっくりと深められます。決して広く浅くではありません。

サークルや学外団体に参加して活動する塾生も目立ちます。香川君はタイとカンボジア国境の地雷除去をサポートするサークルPOM2の代表です。

「2003年に授業から派生したサークルで、ステッカーを販売した収益をもとに地雷除去をサポートしています。寄付行為を研究会でテーマにしたきっかけもこのサークルでの活動でした」

四国出身の香川君は、キャンパス最寄りの湘南台で一人暮らし。「会社訪問などで都心に行くとい日つぶれてしましますが、普段の平日は学校と湘南台で完結するので不便には感じません。休日は横浜に買い物に行ったり江ノ島や鎌倉で遊んだりで快適な学生生活です」



総合政策学部3年
香川佳広君
かがわよしひろ



看護医療学部

EVENTS

- 1年生
- 入学／血液検査（抗体価測定）
 - 医療系三学部（医・看・薬）合同初期教育
 - B型肝炎ワクチン接種（年3回）（対象者）
 - 障がい者支援施設実習
 - 小児感染症ワクチン接種（対象者）
 - 学内技術演習
 - インフルエンザワクチン接種
 - 大学病院見学実習

- 2年生
- 学内技術演習
 - 大学病院実習
 - 医療系三学部合同中期教育
 - 腸内細菌検査
 - 老人保健施設実習（水・木）
 - 産科病棟実習（水・木）



- 3年生
- 信濃町キャンパスへ移動**
 - コマ割形式の時間割
 - 保育園実習
 - 大学病院・外部病院実習（月・火・木・金）
 - 就職懇談会
 - 保健師・助産師選択コース選抜試験
 - 助産師選択コース授業開始

- 4年生
- 湘南藤沢へ移動**
 - 医療系三学部合同後期教育
 - 訪問看護ステーション実習
 - 行政保健師実習・産業保健師実習
 - 大学病院実習
 - 助産オンライン実習
 - 助産院実習
 - 看護師・助産師・保健師国家試験（2月）**
 - 卒業

看護医療学部の開設は2001（平成13）年ですが、そのルーツは1918（大正7）年開所の医学科附属「看護婦養成所」であり、義塾には長い看護教育の歴史があります。看護学科のみで1学年約100名と小規模の学部ですが、医学部はもちろん、薬学部との連携も始まり、塾生たちは看護をベースに総合的な「医療」の学びに取り組んでいます。

多様な状態にある人々のケアを目的に、看護医療学部生は、4年間を通じてさまざまな医療現場で実習を重ねます。

1・2年次は湘南藤沢キャンパスで看護学の基礎を学ぶとともに、大学病院や外部の高齢者施設での実習を行います。

3年次には大学病院のある信濃町に通学しながら、外部の緩和ケア病棟などでも実習をして、患者さんとその家族

に対する看護を学びます。そして**4年次には、湘南藤沢と信濃町の両キャンパス**

で、在宅看護やナーシングマネジメン

トの実習を行います。また4年間を通して医学部・薬学部との合同で、チーム

医療の基礎を学ぶプログラムもあります。

ディスカッションやグループワークなどを多くの授業で積極的に取り入れる

少人数教育も特徴です。特に専門科目の演習や実習では7〜8人のグループを1名の教員が指導します。

海外での看護実践にも力を入れており、長期休暇期間には、イギリス、アメ

リカ、オーストラリア、ラオスへの海外研修プログラムが設定されています。

卒業生全員に**看護師国家試験**受験資格が与えられるほか、3年次秋学期に

保健師または助産師選択コースを希望して選抜され、4年次にコースを修了

した塾生には、それぞれの国家試験受験資格も与えられます。

3年次には湘南藤沢から信濃町にキャンパスが移りますが、4年次には再び湘南藤沢で学ぶ機会が増えます。

一人暮らしの塾生は、1・2年次が湘南藤沢近辺、3・4年次は信濃町近辺に住むケースが多いようです。

学業以外では、同じキャンパスの総合

政策学部・環境情報学部の塾生と、音楽

やスポーツ、ビジネスなどの多彩なサークル活動を行うほか、交流が深い医学部のサークルに所属したり、日吉を拠点に

する体育会で活躍する塾生もいます。さらに、看護医療学部を拠点とするポラ

ンティアサークルも活発です。



薬学部編

EVENTS

1年生

- 入学
- 「早期体験学習」病院・薬局・企業・研究所・大学内研究室(5/7月)
- 医療系三学部(医・看・薬)合同初期教育(薬学科)
- 「薬学への招待」(両学科共通)

2年生

- 「化学、物理」「生物」「有機系」など(両学科共通)実験・実習が始まる
- 薬学知識を深め専門性を高める
- 将来進路の決定(薬科学科)
- 転学科試験(薬学科⇄薬科学科) (10月)

3年生

- 大学院入試(推薦)(薬科学科生受験)
- 大学院入試(1次)(薬科学科生受験)
- 医療系三学部合同中期教育(薬学科)
- 薬学部共用試験(OSCE)(薬学科)
- 大学院入試(2次)(薬科学科生受験)
- 薬学部共用試験(CBT)(薬学科)
- 卒業研究発表(薬科学科)
- 卒業(薬科学科)

4年生

- 白衣式(薬学科)
- 病院・薬局実務実習(各2カ月半計5カ月)
- 実務実習報告会(4・8・12月の3回実施)

5年生

- 医療系三学部合同後期教育(薬学科)
- アドバンスト病院実習(3カ月)(希望者)
- 大学院入試(1次)
- アドバンスト海外病院実習(2~5週間。主に夏休み。希望者)
- 卒業研究発表
- 大学院入試(2次)
- 薬剤師国家試験・卒業(薬学科)

6年生

- 卒業研究発表
- 大学院入試(2次)
- 薬剤師国家試験・卒業(薬学科)

薬学部は、慶應義塾と77年の伝統を持つ共立薬科大学との合併によって2008年4月に誕生しました。1年目を日吉で、その後は芝共立キャンパスで学びます。主に薬剤師を養成する薬学科と、創薬を中心に環境・生命科学の研究者と技術者を育成する薬科学科があり、薬学科では医学部・看護医療学部との連携を生かした授業も行われています。

薬剤師国家試験の受験資格が得られる薬学科は6年制で、薬局や病院で行う実習が必須となります。創薬の研究とのための技術習得に力を注ぐ薬科学科は4年制ですが、学生の多くは大学院に進みます。両学科合わせて1学年は定員210名と少数なうえ、3年

までの講義や実験は共通のものが多く、研究室も大半はどちらの学科からも所属でき、キャンパスの雰囲気には一体感があります。

医師・看護師・薬剤師などが連携して取り組む「チーム医療」が重要視されるなか、薬学科では、コミュニケーション力とプレゼンテーション力を持つ薬剤師の養成に力を注いでいます。

「医学部と看護医療学部の学生と合同で行う、症例を仮定したグループディスカッションでは、治療方針を立てる医学部生、患者さんに寄り添う立場で考える看護医療学部生、そして最適な薬を提案する薬学部生のそれぞれが、知恵

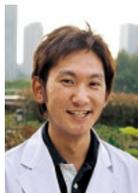
を絞って模擬チーム医療を体験します。お互いの考え方や役割を知りたい体験でした」と話すのは五十嵐彩香君(薬学科6年)です。

3年次の終わりに、薬学科から薬科学科に転学科した浅見賢仁君(薬科学科4年)は、「実験実習に強く興味を引かれ、薬剤師より研究者が向いていると気づき、転学科試験を受けました。今は週6日実験漬けで、卒業研究に取り組んでいます」と言います。

2人は徒歩20分の三田キャンパスには年一回健康診断に行くだけで、キャンパス目の前の東京タワーには「近すぎた」在学中はまだ昇ったことがないそうです。



薬学部薬学科6年
いがらしあやか
五十嵐彩香君



薬学部薬科学科4年
あさみけんじ
浅見賢仁君

慶應義塾は10学部を擁する総合大学です。

そして、各学部の授業は、他学部の塾生に向けて、一部に制限はあるものの、かなり自由に履修できる仕組みが整っています。塾生Webサイト「他学部設置科目の履修について」参照※

さらに義塾には、研究所やセンターと呼ばれる多くの研究・教育機関があります。これらの機関も、塾生が履修できる多彩な講座を開設しています。

例えば言語文化研究所では、サンスクリットやアツカド

語のような特殊言語の授業を行っていますし、

総合大学だから実現できる 専門の壁を越えた幅広い学び

学部によつては異なるキャンパス

斯道文庫では寄贈や寄託を受けた蔵書の研究をする傍ら、書誌学についての授業を提供しています。他にも福澤研究センターの「近代日本研究」や教養研究センターの「アカデミック・スキルズ」、メディア・コミュニケーション研究所の「マス・コミュニケーション論」など、興味深い講座が数多く設けられています。

他学部の授業や諸機関の講座を履修することは、いわば“知の拡大”です。自分が専門とする学問に別の分野からの別の視点

を加えることもできますし、専攻する分野を離れたところで、知的な興味を満たすこともできます。

例えば歴史好きの理工学部の塾生もいるでしょうし、宇宙に興味がある経済学部の塾生もいるはずです。そんな個人的な興味や関心に応えてくれる授業が、義塾には数多く用意されています。また「ちょっと面白そう」と気軽に受けた専門外の授業をきっかけに、これまで知らなかった新しい世界が広がる可能性もあります。

見知らぬ教室で授業を受けることになるかもしれませんが、それだけでもちよつと刺激ですが、いつもと違う環境で授業を受けることで、共通の興味を持つ別の学部の友人ができたり、専門分野以外の教員と交流することができたり、人間関係が広がるきっかけにもなるかもしれません。

履修の可否についてはそれぞれの学部、機関の定めによるほか、事前の選考が行われる場合もあります。また、それらの科目を履修して取得した単位が卒業単位に参入されるか否かは、所属する学部の扱いによります。あらかじめ履修案内などをしっかりと確認してください。

多彩な科目を提供する研究所&センター

言語文化研究所

サンスクリット、アラビア語、ヴェトナム語、ベルシア語、古代エジプト語、アツカド語などが学べる特殊講座を開講。

斯道文庫

斯道文庫は、日本および東洋の古典に関する資料の蒐集と保管、その調査研究を行う機関。研究の傍ら、所蔵する古典籍の実物や副本を用いて、古典研究の基礎となる書誌学などの科目を開講。

メディア・コミュニケーション研究所

マス・コミュニケーション、ジャーナリズム、社会心理学など、メディアやコミュニケーションに関わる科目を開講。

福澤研究センター

センターの研究成果をベースに、福澤諭吉先生の思想と日本の近代史との関わりについて学ぶ科目を開講。

外国語教育研究センター

英語、ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、インドネシア語、アラビア語、イタリア語の9言語の科目を開講。

教養研究センター

問題意識の喚起から問題解決に至るまでのプロセスを実践的に学ぶ「アカデミック・スキルズ」など、理解し、考え、表現する力を養うユニークな科目を開講。

国際センター

日本や東アジア・東南アジアに関する内容を中心に、すべて英語で行う授業を開講。主に海外からの留学生向けですが、日本人学生も履修可。

体育研究所

球技、武道、エアロビクスなど30種類以上の実技科目を開講。アーチエリートやフェンシングといった、普段なかなか経験できない種目の授業も提供。